

コロナ禍における県高体連主催大会の考え方（開催基準と対策）について

1 承諾書の提出

部員は、保護者の同意のうえ各学校が指定した、承諾書を学校長（部顧問）に提出すること。

2 チェックシートの提出（部員・引率顧問・競技役員・保護者※観覧が認められた場合）

①大会2週間前・当日の体調管理、検温のチェックシートを提出する。（各専門部指定様式）

②「**Wチェックの推進**」引率顧問は、生徒の健康観察を行い専門部に提出する。（別紙⑥）

3 大会への参加制限

下記の項目に当てはまる場合、選手、引率顧問の大会への参加を制限する。

なお、大会中に感染者が出た場合には、高体連・専門部・県教委・関係機関（保健所）と協議して判断をする。

参加が制限される状況		参加を制限する期間
①部員、引率顧問等に発熱等の風邪症状がある場合	本人	症状が改善されるまで
	当該部	原則として制限されない
②部員、引率顧問等が「その他の接触者」としてPCR検査を受診する場合	本人	「陰性」が確認され、保健所の許可が出るまで
	当該部	原則として制限されない
③部員、引率顧問等が「濃厚接触者」に特定された場合	本人	外出自粛期間が終了するまで（PCR検査が陰性であっても最終接触日から14日間は外出自粛期間）
	当該部	原則として制限されない
④部員、引率顧問等が「陽性者」となった場合	本人	治癒するまで（保健所等の許可が出るまで）
	当該部	当該部全員の検査対象者（その他の接触者、濃厚接触者）が特定されるまで（その後については、②、③等の適用が想定される）
⑤当該部関係者以外の学校関係者（教員・生徒）が「陽性者」となった場合	学校	当該学校関係者全員の検査対象者（その他の接触者、濃厚接触者）が特定されるまで（その後については、②、③等の適用が想定される）
	当該部	原則として上記を適用する。 ※ ただし、上記特定前に、検査対象者（その他の接触者、濃厚接触者）に該当しないことが明らかとなった部員は、制限されない。

4 上位大会に関わる県予選の考え方

赤圏域等で大会が実施できない場合は、可能な限り「延期」を原則とする。

ただし、延期できない場合は、原則として、以下の項目を基準とするが、最終的には、高体連・専門部・県教委と協議して判断する。

感染状況	大会実施の考え方	選考方法
①全県下「赤圏域」が続く場合	開催または中止	全国・九州高体連専門部の方針を考慮し、県専門部で選考する。
②クラスターなどにより学校(部)単位で出場できない場合	開催または中止	状況を踏まえ、県専門部で選考をする。
③個人が陽性や濃厚接触者等に特定された場合	開催	通常通りの選考とする。

◆上記「選考方法」については、大会要項には示されていないため、各競技専門部から事前に通知されます。

5 感染防止対策について（資料②参照）

6 観覧について

県高校総体は「無観客」で実施されますが、撮影に関わる保護者（各校2名）のみ入場を認めます。2名については、部顧問への事前連絡と、当日の検温チェックシートの提出をお願いします。

7 提出物について

①部顧問が事前に集めて**専門部**に提出するもの（※専門部が求めた場合のみ）

- 観覧者リスト…観覧を認める場合
- 上位大会辞退届…専門部から事前連絡があった場合

②部員が**学校**に提出するもの

- 保護者承諾書…コロナ対策について示したものを利用する。※通知済み

③部顧問が大会当日**専門部**に提出するもの

- 「Wチェックの推進」**
- 感染防止対策・健康観察チェックシート（資料⑥）を使って生徒の健康観察を行う。
 - 生徒から検温チェックシート（専門部指定用紙）を集める。

④引率顧問・競技役員・観覧者が大会当日**専門部**に提出するもの

- 検温チェックシート（専門部指定用紙）
- ※観覧が認められる場合は、上記①で事前提出したリストと照合し入場を許可される。